

# 検見川送信所 保存元年 「明石小」と「田中絹代ぶんか館」に学ぶ



日時：2011年 **3月6日** (日) 開演：午後1時45分 (開場1時30分)

場所：**千葉市文化センター** (千葉県千葉市中央区中央2丁目5-1/043-224-8211)

入場**無料**

主催：**検見川送信所を知る会**

ホームページ <http://kemigawaradio.web.fc2.com/> メール [kemigawaradio@gmail.com](mailto:kemigawaradio@gmail.com)

## <プログラム>

13:45 開会あいさつ

13:55~14:10 特別報告 検見川高校と幕張総合の放送部制作のピクチャーラジオ上映

14:10~14:50 「明石小学校の保存を望む会」中村敬子さん (代表・卒業生)、多羅尾直子さん (建築家・近隣住民)

<10分休憩>

15:00~15:40 田中絹代ぶんか館 (株式会社文化財保存計画協会・岡建司さん)

15:40~16:15 ミニシンポジウム「検見川送信所の今後」

## いよいよ保存元年スタート

1926年に竣工した検見川送信所は吉田鉄郎の設計による貴重な近代建築であり、日本初の国際放送を成し遂げた記念碑的な建造物です。1979年の閉局後は廃墟状態が続いていましたが、昨今の保存の声を聞き、千葉市は2010年度で建物調査に乗り出すなど保存、利活用に向けて動き出しました。この結果は3月までに明らかになります。

「検見川送信所を知る会」では2つの建物に携わった方をお招きして、検見川送信所の保存、活用はどうあるべきかを、みなさんと一緒に考えていきたいと思っております。

### ★地元の声届かず、取り壊された関東大震災の復興小学校「明石小」

一つ目の建物は東京中央区の明石小学校です。明石小学校は関東大震災後に建てられた復興小学校の中でも、最初期の貴重な建物です。建物の強度も問題ないとされながらも、中央区は取り壊して、新しい学校を作るとしました。これに対して、地元では「明石小の保存を望む会」が積極的に活動しましたが、中央区は方針を改めることなく、昨年10月、建物は取り壊されました。



ゲストは「明石小学校の保存を望む会」代表の中村敬子さんと建築家の多羅尾直子さん。地元住民として、どのような思いを持って活動されたか、明石小での教訓などをお話いただきます。

明石小学校の保存を望む会 <http://www.justmystage.com/home/akashihozon/>

### ★レトロが新しい！田中絹代ぶんか館としてよみがえった下関電信局電話課庁舎



二つ目は山口県下関市の田中絹代ぶんか館。同館は大正13(1924)年に、旧逓信省下関電信局電話課庁舎として竣工しました。その後、下関市が買取り、下関第一別館として親しまれていましたが、1993年に市は老朽化を理由に解体を発表しました。しかし、市民の保存の声に下関は前足を撤回し、2010年2月、下関出身の女優、田中絹代の功績を顕彰する「田中絹代記念館」として再オープンしています。

中絹代記念館」として再オープンしています。

ゲストは「株式会社文化財保存計画協会」の岡建司さん。岡さんは建築家として、同館のリノベーションを担当されました。

田中絹代ぶんか館 <http://kinuyo-bunka.jp/>

検見川高校（高文連関東地区放送コンクール優秀賞受賞）と幕張総合高校が制作したピクチャーラジオ（それぞれ5分）の上映も行います。